



2026 年 10 月 7 日

りそなアセットマネジメント株式会社

株式会社ナウキャスト

株式会社 Finatext ホールディングス

**りそなアセットマネジメントとナウキャスト、Snowflake 上に  
「商品概要書・投資信託約款」作成・管理の自動化基盤を構築  
～生成 AI とシステム処理を組み合わせ、高い正確性と業務効率化を両立～**



**りそなアセットマネジメント**



りそなアセットマネジメント株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:西山 明宏、以下「りそなアセットマネジメント」)と AI 時代の金融インフラを提供する Finatext グループの株式会社ナウキャスト(本社:東京都千代田区、代表取締役 CEO:辻中 仁士、以下「ナウキャスト」)は、投資信託の商品概要書および投資信託約款の作成・更新業務を効率化・高度化するため、Snowflake 環境上に投資信託関連データベースと 4 つの業務機能を備えた自動化基盤を構築したことをお知らせいたします。

本取り組みにより、商品概要書や投資信託約款が Word ファイルで保存・管理されていたことに起因する個別の手作業やデータ管理の属人化を解消し、業務工数の大幅削減とミス防止、法規制・業界ルールの改定に伴う対応の迅速化を実現しました。

## ■背景と課題

投資信託の商品概要書および約款の作成・変更業務は、ファンドの新規設定時や社内規定の改定、資産運用業協会等からの通知・法令改正に伴い頻繁に発生します。しかし、従来の業務プロセスにおいては以下の課題が存在していました。

### 1. 手作業・目視チェックによる膨大な業務負担

担当者が共有ファイルやローカルサーバー上の Word ファイルをファンド 1 本ずつ手作業で開いて変更箇所の確認や修正を行っており、1 つの改定通知への対応に数日から 1 週間程度を要するなど、ファンド数に比例して工数が大きくなる構造となっていました。

### 2. データの散逸とバージョン管理の属人化

原本となる Word ファイルの保管状態や命名ルール、バージョン管理が個人の管理に依存しており、管理担当者の業務負担が高まっていました。

### 3. 「新旧対照表」作成等、規制対応の重い負担

商品概要等の所定事項や投資信託約款を変更する場合、変更内容に応じて、資産運用業協会や当局等への届出・報告が必要となります。従来はこの作成・とりまとめを、手作業で行っていたため、大きな業務負担となっていました。

## ■本取り組みの概要

りそなアセットマネジメントが既に稼働させている Snowflake 環境内に投資信託情報を集約するデータベースとフォルダ構造を構築し、既存の Word ファイルからデータを読み込んで構造化データとして蓄積・一元管理する環境を整備しました。

その上で、業務プロセスを効率化する以下の 4 つの主要機能を開発・実装しました。

### 【構築した 4 つの主要機能】

#### 1. 条件絞り込みおよび自然言語による「ファンド検索機能」

商品分類や投資対象地域、運用スタイル等の属性情報による条件絞り込みに加え、自然言語を用いた柔軟な検索が可能です。AI が入力された文脈を検索条件へ補正・変換し、新規作成のベースとなる類似ファンドや修正対象ファンドを迅速に特定します。

#### 2. 生成 AI を活用した「新規作成・個別変更エディター機能」

類似ファンドをもとにした投資信託の商品概要書および投資信託約款の新規作成や特定ファンドの個別修正を行う専用エディターです。変更指示を入力すると生成 AI が文章案を自動作成・提案します。提案内容は画面上で承認、破棄、直接修正が行える設計となっています。また、作成・変更した資料は変更箇所と変更内容を示すコメント付きの Word ファイル出力が可能です。

#### 3. ロジックによる確実な処理と AI の限定活用を組み合わせた「一括変更機能」

複数のファンドに共通する変更が発生した際、AI が改定通知文や修正依頼文等から置換ルール案を自動生成します。ルールの適用対象となる全ファンドの抽出およびファイルスキャンはプログラムによる確実なシステム処理で行い、AI の役割を置換ルールの作成のみに限定することで、ハルシネーション(誤回答)や対象ファンドの抽出漏れリスクを軽減しています。

#### 4. 約款の変更差分データからの「新旧対照表自動生成・出力機能」

システム上で加えられた変更差分データから、資産運用業協会等への提出に必要な新旧対照表を自動生成し、Word 形式で一括ダウンロードできます。従来手作業で 1 ファイルずつ作成・比較していた作業負担を抜本的に解消します。

# ○画面イメージ

## <新規作成・個別変更エディター機能の変更提案画面>

検索 案件一覧 新規一括変更 ▾

← 案件管理画面に戻る

商品概要書エディタ 約款へ

変更適用日 2026年10月2日

最終保存: 2026/10/02 00:24

変更なし (版を引き継ぎます) / ペース版から 0 件差分 / 未処理の提案 3 件

Word ダウンロード Word を取り込む 保存済み 保存して戻る

⑥ 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

⑦ 〈2026年10月1日まで〉

デリバティブ取引は、投資対象とする現物資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

〈2026年10月2日以降〉

デリバティブ取引は、投資対象とする現物資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的、ならびに収益の補完を目的として利用します。

〈2026年3月31日まで〉

⑧ 一般社団法人投資信託協会規則に規定するデリバティブ取引等について、同規則に従い、合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。

⑨ 一般社団法人投資信託協会規則に規定する一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれの区分毎に10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

〈2026年4月1日以降〉

⑩ 一般社団法人資産運用業協会規則に規定するデリバティブ取引等について、同規則に従い、合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。

⑪ 一般社団法人資産運用業協会規則に規定する一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれの区分毎に10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人資産運用業協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

3件の提案 (未処理 3件)

変更したい内容を入力

変更提案

## <一括変更機能の置換ルール設定画面>

検索 案件一覧 新規一括変更 ▾

002 一括変更(商品概要書)

Step1 置換ルール設定 Step2 ルール適用・レビュー Step3 一括確定

このステップでは商品概要書本文の置換ルールと適用日を設定します。  
変更指示を入力して AI でルールドラフトを生成することができます。  
生成されたルールは手動で編集・追加・削除できます。ルールの変更は保存するまで確定しません。

変更内容の指示テキスト

外貨建て資産を外貨建資産へ、換金代金について、4営業日から3営業日へ

AI でルールドラフトを生成

2件のルールをドラフトに追加しました(保存するまで確定しません)。

置換ルール

ルール1 対象: 文書全体 削除

変更前 外貨建て資産 変更後 外貨建資産

ルール2 換金代金 (240) 削除

変更前 4営業日 変更後 3営業日

ルールを追加

適用日(金ファンド共通)

2026年10月2日

ルールを保存して次へ

## 【本システムの特長】

### OSnowflake 上での完全一貫構築

データ基盤からデータベース構築、作業画面、生成 AI 機能の呼び出しまでをすべて既存の Snowflake 上で完結させ、高いセキュリティとデータガバナンス、拡張性を実現しています。また、GitHub Actions と Snowflake CLI を活用した CI/CD ワークフローを導入し、開発・本番環境への自動デプロイと運用保守の低コスト化を実現しました。

### OA I 活用とシステム処理の分離によるハルシネーションリスクの軽減

誤った情報を排除すべき金融機関の厳格な業務原則に基づき、ファイルのスキャンや全件抽出など確実性が求められる処理はシステムで行い、AI は文章の案出やルール生成などの補佐的役割に限定しています。

### ○人間が最終確認・承認を行いやすい UI

AI による自動化を過信せず、差分表示や承認・破棄ボタン、直接編集機能を備えた UI により、最終的な正確性を人間がスピーディーかつ確実に担保できるフローを実現しています。

## ■今後の展望

近年、資産運用業界において一層の運用力強化が求められる中、生成 AI をはじめとする IT テクノロジーの活用による業務効率化・高度化への期待が高まっています。

本取り組みでは、これまで非構造化データとして管理されていた商品概要書や約款を構造化し、データベース上で一元管理することで、属人性を排除し、新規作成から修正、管理といった業務プロセスの大部分の自動化を実現しました。今後も、りそなアセットマネジメントとナウキャストは著しい進化を遂げる IT テクノロジーを積極的に活用し、業務プロセスの効率化・高度化を進めてまいります。

なお、本件による業績への影響は軽微であります。

以 上

## ■りそなアセットマネジメント株式会社

会社名 : りそなアセットマネジメント株式会社  
代表者 : 代表取締役社長 西山 明宏  
設立 : 2015 年 8 月  
所在地 : 東京都江東区木場 1 丁目 5 番 65 号 深川ギャザリア W2 棟  
公式サイト : <https://www.resona-am.co.jp/>

## ■株式会社ナウキャスト

会社名 : 株式会社ナウキャスト  
代表者 : 代表取締役 CEO 辻中 仁士  
設立 : 2015 年 2 月  
所在地 : 東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号 住友不動産九段ビル 9 階  
公式サイト : <https://nowcast.co.jp/>